令和7年3月14日

那須烏山市議会議長 青木敏久様

文教福祉常任委員会委員長 荒井浩二

予算審査結果報告書

本委員会に令和7年3月4日に付託された事件は、審査の結果、次のとおり決定したので、那須烏山市議会会議規則（平成17年10月那須烏山市議会規則第1号）第109条の規定により報告します。

- 1 審査期日 令和7年3月5日（水）、6日（木）、7日（金）
- 2 審査場所 那須烏山市役所 南那須庁舎 第二委員会室
- 3 出席委員 荒井浩二、平塚英教、堀江清一、矢板清枝、滝口貴史

4 説明のための出席者

市民課長 大谷啓夫、福祉事務所長兼健康福祉課長 岡 誠、こども課長 水上和明、学校教育課長 齋藤浩文、生涯学習課長 黒尾明美、他関係職員

5 審査事項

本委員会の所管する市民課、健康福祉課、こども課、学校教育課及び生涯学習課の令和7年度那須烏山市の一般会計及び特別会計歳入歳出予算

6 審査結果

本委員会が付託を受けた一般会計及び特別会計の予算については、一部反対意見はあったものの、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。ただし、次のことについて要望し、意見を付することとします。

市民課

- ・基幹系システムを国のガバメントクラウドへ移行するにあたって、DX関連業務が日々の窓口業務の負担となっている。DX推進は庁内全体に関わる取組であることから、DXを専門とする部署を設置し、事務分掌を整理するよう求める。
- ・「書かない窓口」のシステム機器や証明書コンビニ交付サービスの普及により市民の利便性向上を図っているところであるが、今後導入されるLINE拡張ツール等を活用し、ワンストップサービスを目指した更なる窓口業務改善に努められたい。

健康福祉課

- ・敬老会開催にあたっては、各自治会の実態に合わせて交付金の支給基準の見直しを図るとともに、今後も継続的に本市で敬老会を開催できるよう、市での合同開催といった形も含めて開催方式を検討されたい。
- ・民生委員の一斉改選にあたり、欠員を解消し適切な人材確保に努めるとともに、業務量が増加している委員の活動に対して、メンタルヘルスチェックを含めた十分なサポートに努められたい。

こども課

- ・予算編成にあたっては、課内で事業を精査することに加え、特に子ども・子育て支援に関する事業が充実するよう意識して全庁的な調整を図られたい。
- ・令和7年度から全面開園となるなすからこども園においては、園児や保護者にとって安心・安全な運営を行うとともに、こども館とにこにこ保育園から移行となる「子育て支援センターきらきら」の活動の充実に努められたい。
- ・こども家庭センターは、教育委員会と連携しながら家庭への支援を行っているが、増加している児童虐待や不登校児童に対応するべく、本市専従のスクールソーシャルワーカーの設置等についても関係課と検討を重ねて更なる連携強化を図られるよう努められたい。

学校教育課

- ・学校適正規模等検討委員会において適正な学校規模・配置について議論を進めているが、それにより児童生徒にとってより良い教育環境の実現に努められたい。また、時世や本市の実情に合わせた教育行政の在り方を示す教育ビジョンの策定を進められたい。
- ・校内教育支援センターの設置にあたり、不登校児童生徒の個に応じた指導・支援に努めるとともに、新たに導入されるこころの健康観察アプリ（LEBER）を活用し、児童生徒のメンタルヘルスチェックや心身の健康管理に努められたい。
- ・中学生海外派遣事業について、より多くの生徒が国際文化に触れる機会を設けるよう、英語圏に限らず相互に学生を派遣する事業への見直しを図られたい。

生涯学習課

- ・大桶運動公園及び中央公園の利用注意喚起看板設置にあたっては、都市建設課をはじめとした公共施設を所管する関係各課と連携のうえ、市内全体で統一感のある掲示内容を検討されたい。加えて、市内文化財の案内看板の設置についても早急に検討されたい。
- ・市内文化財のデジタル化及び目録作成に向けて整理作業を進めていくとともに、無形民俗文化財団体等補助金については、関係団体と協議したうえで補助金の交付要綱及び補助金額の見直しを図られたい。
- ・ジオパーク構想推進事業については、推進協議会の在り方及び今後の事業方針を明確にするよう議論を進められたい。